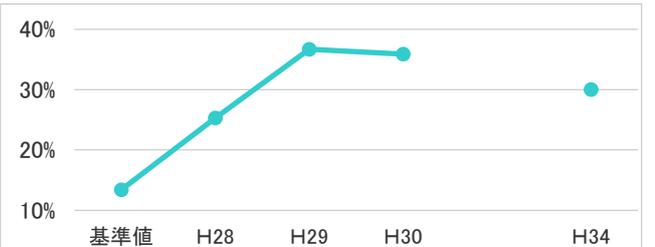
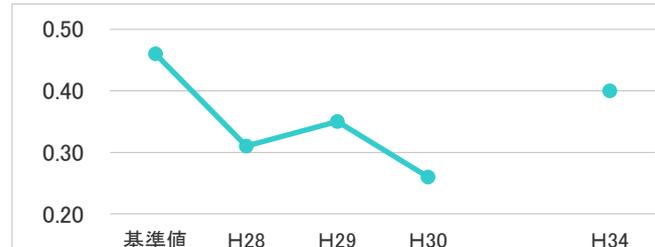
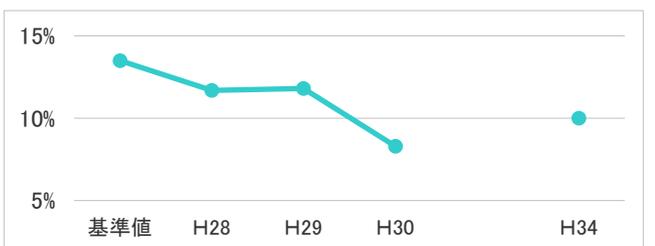
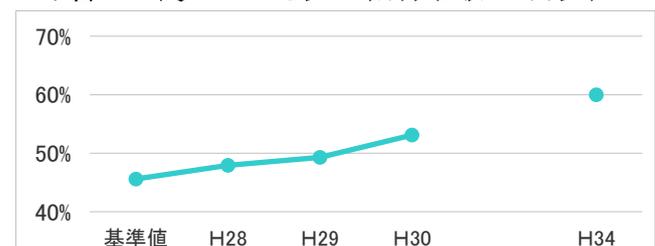
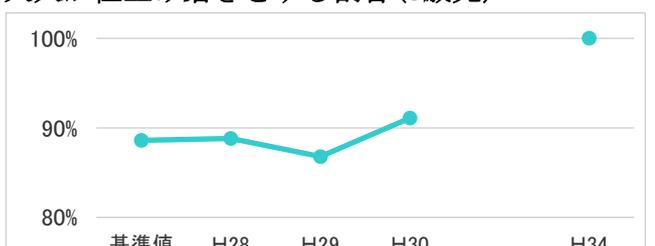


平成30年度燕市歯科保健計画の進捗状況

健康づくり課

育ちざかり (妊婦・乳幼児0～5歳)	よく噛んで楽しく食べる習慣と歯磨き習慣に親子で取り組む																
行動目標	○保護者が毎日仕上げ磨きをする ○おやつの内容や回数を気をつけて食べさせる ○よく噛んで食べる習慣をつける ○定期的に歯科健診・フッ化物歯面塗布を受ける																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【平成34年度】 表中の年表示は、計画策定時の元号に合わせ「平成(H)」と表記																
①妊婦歯科健診受診率  <table border="1" data-bbox="167 806 758 907"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.40%</td> <td>35.9%</td> <td>30%</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	13.40%	35.9%	30%	◎	②3歳児一人平均むし歯数  <table border="1" data-bbox="885 806 1476 907"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.46本</td> <td>0.26本</td> <td>0.4本</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	0.46本	0.26本	0.4本	◎
基準値	H30年度	目標値	達成度														
13.40%	35.9%	30%	◎														
基準値	H30年度	目標値	達成度														
0.46本	0.26本	0.4本	◎														
③3歳児むし歯有病率  <table border="1" data-bbox="167 1209 758 1310"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.5%</td> <td>8.3%</td> <td>10%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	13.5%	8.3%	10%以下	◎	④むし歯を3本以上持つ3歳児  <table border="1" data-bbox="885 1209 1476 1310"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.6%</td> <td>2.8%</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	4.6%	2.8%	減少	◎
基準値	H30年度	目標値	達成度														
13.5%	8.3%	10%以下	◎														
基準値	H30年度	目標値	達成度														
4.6%	2.8%	減少	◎														
⑤5歳児一人平均むし歯数  <table border="1" data-bbox="167 1612 758 1713"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.56本</td> <td>1.15本</td> <td>1.5本以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	1.56本	1.15本	1.5本以下	◎	⑥よく噛んで食べている児の割合(1歳6か月児)  <table border="1" data-bbox="885 1612 1476 1713"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45.6%</td> <td>53.1%</td> <td>60%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	45.6%	53.1%	60%	○
基準値	H30年度	目標値	達成度														
1.56本	1.15本	1.5本以下	◎														
基準値	H30年度	目標値	達成度														
45.6%	53.1%	60%	○														
⑦大人が仕上げ磨きをする割合(3歳児)  <table border="1" data-bbox="167 2016 758 2116"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.6%</td> <td>91.1%</td> <td>100%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	88.6%	91.1%	100%	○	仕上げ磨きの徹底等、保護者や家族を巻き取り取組みを推進していきます。								
基準値	H30年度	目標値	達成度														
88.6%	91.1%	100%	○														

平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		妊婦歯科健診の継続実施と拡充	
該当する事業		①妊婦歯科健診	
		②妊婦学級(歯の健康)	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・歯科衛生士会
実施状況	内容	①委託歯科医療機関から協力を得て、妊婦歯科健診の実施 ②妊婦学級(全3回コース)の2回目で歯科衛生士による妊娠期から子どもの歯についても学べる衛生教育の実施	
	取組み	①平成28年度から受診しやすい体制として個別健診とし、妊娠届出時や妊婦訪問時に受診勧奨をしている。 ②媒体を活用したわかりやすい講話の他、妊婦の体調に合わせたブラッシング等、参加者の質問にも対応している。	
	成果と課題	①受診率は増加傾向。妊娠がきっかけで歯科受診する例も多く、歯周疾患予防や早期治療となり、結果、安心安全なお産に寄与すると考える。 ②子どもの歯についても真剣に聞いている妊婦が多く、これからの歯科保健の意識高揚に期待できる。また、妊婦歯科健診の受診勧奨もしている。	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		歯科健診の受診しやすい体制づくり	
該当する事業		幼児歯科健診	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・歯科衛生士会
実施状況	内容	1歳児、1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児を対象に集団健診の継続実施(歯科健診、フッ化物歯面塗布、歯科指導)	
	取組み	フッ化物歯面塗布の際に個別指導を実施し、むし歯がある場合は受診勧奨している。必要時、保健師と情報共有している。 1歳、2歳、2歳6か月児歯科健診では小グループ毎に歯科衛生士による媒体を用いた歯科指導をしている。	
	成果と課題	健診受診率は常に90%前後と高く、継続的にフッ化物歯面塗布ができ、むし歯がある子どもの数は減少傾向である。少数だが、ひとりがむし歯の本数を多く持つ傾向は変わらないが、その大半は歯科治療はしており、家庭環境が気になる児でもない。	
今後の取り組みと方向性		継続 仕上げ磨きの徹底やよく噛む食事の勧め等、保護者への働きかけを強化していくために、歯科衛生士との情報共有を積極的に図る。	

平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		園での歯科健診の継続実施、事後指導の強化	
該当する事業		園での歯科健診	
担当課	子育て支援課	関係機関	燕歯科医師会・幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	年2回、歯科健診の実施 歯科健診通知書を発行し、受診勧奨および受診結果の把握	
	取組み	「歯の健康」について掲示物や園のお便りに掲載している。 個別に声かけし、受診勧奨している。 歯科健診通知書を色紙にして目立つような工夫をした。	
	成果と課題	受診につながるケースが多く、全体的に意識が高まっている。	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		むし歯予防教室の継続実施	
該当する事業		①むし歯予防教室 ②歯みがき講座	
担当課	①健康づくり課	関係機関	歯科衛生士会・幼稚園・保育園・こども園
	②子育て支援課		歯科衛生士会・子育て支援センター
実施状況	内容	歯科衛生士による健康教育(むし歯予防、ブラッシング等)の実施 ①年間市内10か所の園で実施 ②子育て支援センター事業の機会を捉えて実施	
	取組み	歯科衛生士と打合せをしながら、各園や支援センターの状況に合わせた教室運営をする。	
	成果と課題	保護者も参加してもらうことで共通認識が図られている。	
今後の取り組みと方向性		継続	

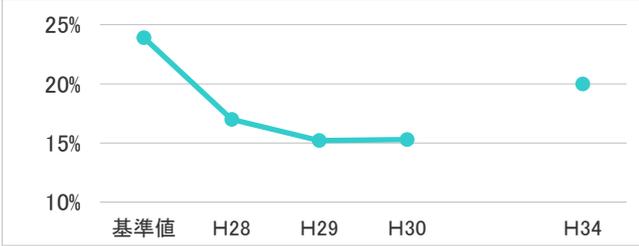
平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		よく噛む習慣が定着するような指導の強化	
該当する事業		①離乳食相談会	
		②噛み応えのある給食メニュー	
担当課	①健康づくり課	関係機関	①食生活改善推進委員
	②子育て支援課		②幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	①毎月1回、離乳食に関する相談会の実施 離乳食各期(初期・中期・後期)のお話、離乳食の実物展示、個別相談 ②給食等で「よく噛む」ことの継続的指導	
	取組み	①その時期の旬の野菜を取り入れたレシピを作成している。30年度から離乳食の実物展示の際に、食生活改善推進委員より調理の工夫等お話する時間を設けた。 ②三角食べやよく噛むように声かけの継続	
	成果と課題	①栄養士のお話やレシピで、月齢に合わせて「噛む」ことも意識できるよう工夫している。実物展示では具体的な話が聞けるので、保護者に好評であり、「やってみよう」という声も聞かれる。 ②いろいろな食材にチャレンジする姿が見られるようになった	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		歯の衛生が保たれない場合、 ネグレクト等も考慮した関わり、関係機関との連携	
該当する事業			
担当課	(社会福祉課)	関係機関	幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	必要時、関係機関と連携し、対応する	
	取組み	園から保護者へ受診勧奨するが、医療につながらないため、社会福祉課へ相談し、対応策を検討した。	
	成果と課題	対象を取り巻く環境を考慮した個別の関わりで受診勧奨をしたところ、受診し、治療が開始された事例あり。	
今後の取り組みと方向性		継続	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

育ちざかり (児童・生徒6～18歳)	歯や口腔を守る食習慣や生活習慣を知り、自ら実践する																
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○親子で歯磨きの習慣をつける ○自分の歯や口腔に関心を持ち、歯を丈夫にする方法を学び、実践する ○歯肉炎やむし歯になったら早めに受診する ○歯やからだの健康を考えた食事やおやつ摂り方の工夫をする 																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【平成34年度(2022年)】																
①12歳児一人平均むし歯数	②小学校児の歯肉炎有病者率																
 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.28本</td> <td>0.18本</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	0.28本	0.18本	減少	◎	 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.1%</td> <td>9.4%</td> <td>7%以下</td> <td>▼</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	7.1%	9.4%	7%以下	▼
基準値	H30年度	目標値	達成度														
0.28本	0.18本	減少	◎														
基準値	H30年度	目標値	達成度														
7.1%	9.4%	7%以下	▼														
③中学校児の歯肉炎有病者率	引き続き、むし歯予防対策の継続実施と日ごろからの指導等取組みを推進していきます。																
 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.9%</td> <td>15.3%</td> <td>20%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	23.9%	15.3%	20%以下	◎									
基準値	H30年度	目標値	達成度														
23.9%	15.3%	20%以下	◎														

平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(児童・生徒6～18歳)】

重点的取り組み		既存事業を活用した高校生向け歯周病予防の啓発	
該当する事業		赤ちゃん交流会	
担当課	健康づくり課	関係機関	県立吉田高校・児童館
実施状況	内容	赤ちゃん交流会の機会を捉え、高校生に向けた歯周病予防の啓発	
	取組み	赤ちゃん交流の流れの中に「歯周病予防」等についての健康教育を組み込み、実施した。	
	成果と課題	高校生だけでなく、同時に参加している赤ちゃんの保護者(子育て世代)へも啓発普及を実施できた。	
今後の取り組みと方向性		継続	赤ちゃん交流会のほか、高校生を対象にした事業を実施する際に「歯」の健康教育についても取り入れていく。

重点的取り組み		むし歯歯周病予防教室の継続実施	
該当する事業		むし歯・歯周病予防教室	
担当課	学校教育課	関係機関	歯科衛生士会・小学校・中学校
実施状況	内容	各学校で毎年1回、歯科衛生士による歯みがき指導の実施	
	取組み	養護教諭と歯科衛生士とで事前打ち合わせをし、対象(学校や学年)に応じた内容を取り入れている。	
	成果と課題	教室後の歯みがき状況をみると、指導の効果を実感するが、定着に向けて教室を継続実施していきたい。 低学年での仕上げ磨きが定着するために、幼児期からの仕上げ磨きの大切さの啓発普及。	
今後の取り組みと方向性		継続	給食の限られた時間の中で「よく噛む」、「食事のマナー」等の指導も継続していく。

重点的取り組み		フッ化物洗口事業の継続実施	
該当する事業		フッ化物洗口	
担当課	健康づくり課	関係機関	小学校・中学校
実施状況	内容	週1回、学校でフッ化物洗口の実施	
	取組み	平成26年度から市内全小中学校で実施している。 平成30年度から新入学時にフッ化物洗口の希望の有無を把握し、その意向を卒業まで継続する扱いとした。	
	成果と課題	施設実施率は100%、施設内希望率も98%を超え、フッ化物利用を中心としたむし歯予防が継続できる環境が整っている。	
今後の取り組みと方向性		継続	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

働きざかり (19～64歳)	歯や口腔を自分で守る食習慣や生活習慣の継続と、 かかりつけ医でのセルフケアチェックを定着する																
行動目標 <ul style="list-style-type: none"> ○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する ○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける ○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成のために行動する 																	
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成（80%以上）、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【平成34年度（2022年）】																
①自分の歯を有する人(55～64歳)で 24本以上の割合	②現在、歯や口の状態に満足している人 (35～44歳)の割合																
<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62.4%</td> <td>67.3%</td> <td>70%以下</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	62.4%	67.3%	70%以下	○	<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46.9%</td> <td>53.4%</td> <td>60%以上</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	46.9%	53.4%	60%以上	○
基準値	H30年度	目標値	達成度														
62.4%	67.3%	70%以下	○														
基準値	H30年度	目標値	達成度														
46.9%	53.4%	60%以上	○														
③定期的に歯科健診を受診している人 (35～44歳)の割合	④歯間部清掃用具を毎日使用している人 (35～44歳)の割合																
<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.5%</td> <td>47.2%</td> <td>40%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	37.5%	47.2%	40%以上	◎	<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.3%</td> <td>20.6%</td> <td>30%以上</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	19.3%	20.6%	30%以上	△
基準値	H30年度	目標値	達成度														
37.5%	47.2%	40%以上	◎														
基準値	H30年度	目標値	達成度														
19.3%	20.6%	30%以上	△														
⑤燕市特定健診等受診者のうち 成人歯科健診や唾液潜血反応検査を 受診した人(40～74歳)の割合	引き続き、各歯科健診の継続。 さらに、特定健診会場にて実施している 唾液潜血反応検査を通して、 歯の健康意識が高まり、定期受診に つながるきっかけづくりを目指します。																
<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.2%</td> <td>20.1%</td> <td>20%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	19.2%	20.1%	20%以上	◎	※28年度より特定健診会場にての成人歯科健診から 医療機関委託の歯周疾患検診へ変更。								
基準値	H30年度	目標値	達成度														
19.2%	20.1%	20%以上	◎														

平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		成人歯科健診の強化(重点的に節目検診取組む)	
該当する事業		①歯周疾患健診	
		②唾液潜血反応検査	
		③3歳児健診受診児保護者の歯科健診	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・歯科衛生士会
実施状況	内容	①委託歯科医療機関から協力を得て、40歳・50歳・60歳・70歳を対象にした歯科健診の実施(問診、口腔内検査、歯科保健指導)	
		②歯周疾患の有無をみる検査を特定健診全会場で実施(陽性反応の場合は医療機関への受診勧奨)	
		③3歳児健診にて、保護者の歯科健診と個別指導の実施	
	取組み	①委託歯科医療機関にてポスター掲示による周知と対象者への個別通知	
		②健診当日、問診・指導の際、定期歯科受診をしていない人や口腔状態が気になる人、受診していない人へ特に検査を勧めている。	
		③3歳児健診個別通知に保護者の歯科健診の案内も記載し、健診受付時にも受診を勧めている。	
成果と課題	①受診率は横ばい傾向(H29年度9.8% H30年度9.3%)。特定健診で実施している歯の質問票から「定期歯科健診を受ける割合」は約5割と多いのだが、受診率は伸び悩んでいる。		
	②診療依頼書の返却率(H29年度24.8%、H30年度24.3%)は依然として低く、陽性反応者の歯科医療機関への受診率向上が課題である。		
	③近年、受診率が増加(H29年度31.5% H30年度31.8%)している。受けやすい体制が好評である。		
今後の取り組みと方向性	継続	定期歯科健診のきっかけとなる各種歯科健診の継続実施とあわせて、受診率や返却率(受診)向上となるよう、実態を把握していく。	

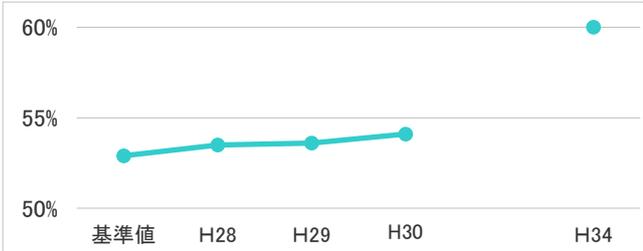
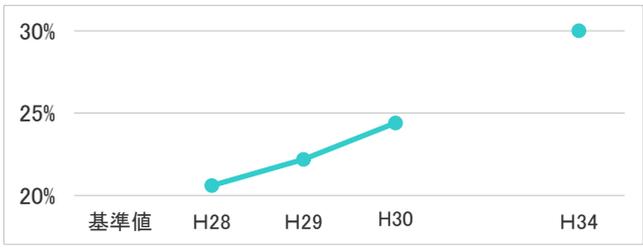
平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		歯の健康についての啓発普及の拡充	
該当する事業		①歯の健康川柳	
		②各種教室等	
担当課	健康づくり課	関係機関	歯科医師会
			保健推進委員・食生活改善推進委員
実施状況	内容	①募集した「歯の健康川柳」を市長や歯科医師会長に選考してもらい、歯のイベントにて表彰	
		②地区組織とともに地域の実情に合わせた健康づくり教室等の企画実施	
	取組み	①広報およびかんたん申請で、健診受診者以外にも広く周知した。	
②歯科衛生士を講師に「お口からはじまる健康講座」等を実施した。			
成果と課題	①歯や口の健康を考えるきっかけづくりになり、入選作品を広報に掲載することで歯の健康の啓発普及を図っている。		
	②毎年1～2会場で実施。講話の他、実技指導もあり、参加者にとって好評で、歯の健康を考えるきっかけとなっている。		
今後の取り組みと方向性		継続	①選考に漏れた多くの句を歯の健康に関連する事業で活用していく。

重点的取り組み		歯の健康に関心を持つ企業を増やす啓発	
該当する事業		①職域健診	
		②つばめ元気かがやきポイント事業	
		③職場での歯科健診（パナソニック取り組み）	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕 吉田 分水商工会・企業
実施状況	内容	①職域健診にて、歯の健康づくりの啓発普及	
		②健康づくりスタート企業・団体の募集及び社員の健康づくりの応援	
		③歯科健診、保健指導（受診勧奨）	
取組み	①商工会と連携し、職域健診において、つばめ元気かがやきポイント事業のPRの際に歯科保健の大切さも啓発した。		
	②元気かがやきポイント事業に企業・団体で取り組むことで、歯に関する健康行動の定着の強化を図る。		
	③歯科健診に加え、アンケートの実施、卓上POP、歯ブラシ配布		
成果と課題	②H29年度はスタート企業50、団体14と、健康づくりのきっかけになったとの声がある。		
	③燕歯科医師会への職場歯科健診の依頼はH29、30年とも年間2件あった(新潟県歯科保健協会より)。		
今後の取り組みと方向性		継続	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

活躍ざかり (65歳以上)	定期歯科健診と嚙下体操で食べる楽しみがいつまでも持てる																
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する ○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける ○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成にむけて行動する ○嚙下体操を実施し、飲み込みなど改善することを実感する 																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【平成34年度】 表中の年表示は、計画策定時の元号に合わせ「平成(H)」と表記																
①定期的に歯科健診を受診している人 (65～74歳)の割合	②お口の体操などの見込みにくさを改善する方法があることを知っている人 (65～74歳)の割合																
 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.9%</td> <td>54.1%</td> <td>60.0%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	52.9%	54.1%	60.0%	○	 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H30年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>24.4%</td> <td>30%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H30年度	目標値	達成度	未調査	24.4%	30%	○
基準値	H30年度	目標値	達成度														
52.9%	54.1%	60.0%	○														
基準値	H30年度	目標値	達成度														
未調査	24.4%	30%	○														
改善傾向にあります。 引き続き、実態把握し、歯の健康づくりを推進していきます。																	

平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【活躍ざかり(65歳以上)】

重点的取り組み		口腔ケアの重要性を情報提供	
該当する事業		地域のサロン活動	
担当課	長寿福祉課	関係機関	社会福祉協議会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	サロン等高齢者の集まる機会を捉え、在宅歯科医療連携室の歯科衛生士による「歯の健康出前講座(口腔ケアの重要性について情報提供)」の実施	
	取組み	サロン代表者に「歯の健康出前講座」を周知し、申込みを募っている。	
	成果と課題	H30年度は、11か所で実施。 実際に講座を受けた参加者の反応はとても良い。	
今後の取り組みと方向性		継続	「歯の健康出前講座」の周知の際に、口腔ケアの意義を伝えて広く情報提供できる機会をつくる。

重点的取り組み		介護予防事業と連携した口腔ケアの啓発強化	
該当する事業		①健康教室(短期集中型通所サービスC)	
		②健康教室(短期集中型訪問サービスC)	
担当課	長寿福祉課	関係機関	各地区福祉会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	①基本チェックリスト該当した参加申込み者を対象に運動と口腔機能向上の複合プログラムを実施	
		②運動・栄養・口腔ケアを専門職が訪問し、集中的に実施	
	取組み	①約5か月間で全18回の教室中、3回口腔機能向上プログラムを実施 ②週1回、約3か月間実施	
成果と課題		口腔ケアが必要な対象者には、在宅歯科医療連携室に依頼。口腔ケアの改善に役立っている。	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		後期高齢者歯科健診の実施	
該当する事業		長寿歯科健診	
担当課	保険年金課	関係機関	燕歯科医師会
実施状況	内容	委託歯科医療機関から協力を得て、76歳・80歳を対象にした歯科健診の実施(歯・口腔衛生・咬合状態の確認、歯周疾患の有無、嚥下機能チェック)	
	取組み	対象者に受診票を個別通知。健診結果から必要と思われる方を健康教室につなげるために、担当課である長寿福祉課と連携を図っている。	
	成果と課題	受診率が横ばい(H29年度10% H30年度8.4%)である。	
今後の取り組みと方向性		継続	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

介護を要する人・障がい者(児)	口腔ケアの実施と治療を受けやすい環境をつくり、食生活に満足できる
-----------------	----------------------------------

行動目標	○介護に関わる人が適切な口腔ケア等を必要な人に実施できるよう、技術を習得する ○治療を受けたい人が受けられる体制を整える
------	---

数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成（80%以上）、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【平成34年度】 表中の年表示は、計画策定時の元号に合わせ「平成（H）」と表記
-----------	--

①かかりつけ歯科医を持つ人の割合

基準値	H28年度	目標値	達成度
未調査	58.1%	増加	—

(3年毎に調査を実施、次回調査は令和元年度予定)

②訪問歯科健診事業を知っている人の割合

基準値	H28年度	目標値	達成度
未調査	39.1%	増加	—

(3年毎に調査を実施、次回調査は令和元年度予定)

③燕・弥彦在宅歯科医療連携室における訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数

基準値	H30年度	目標値	達成度
35件	14件	80件	▼

④燕・弥彦在宅歯科医療連携室における専門職に対する口腔ケア実施研修利用件数

基準値	H30年度	目標値	達成度
6件	5件	10件以上	▼

③訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数について、県が実施主体であった訪問歯科健診事業が平成30年11月に終了したことから、件数が減少しました。今後、対象者には健診／相談機関として在宅歯科医療連携室を紹介し実施していく予定です。引き続き、関係機関で連携を図りながら、取組みを継続していきます。

平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【介護を要する人・障がい者(児)】

重点的取り組み		訪問歯科健診事業の周知強化	
該当する事業		①訪問歯科検診事業（実施主体：新潟県） ②歯っぴー健診（上記の事業を利用し燕市独自に実施）	
担当課	長寿福祉課	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	在宅要介護者等に対し、口腔機能の向上、要介護状態の悪化を防ぐことを目的とした訪問歯科健診(無料)の実施	
	取組み	①対象:在宅の要介護3.4.5。H30年度対象者316名うち申込者7名。 ②対象:要介護2以下から初めて要介護3になった方。 対象者14名うち申込み4名	
		①②本人宛の介護保険証に健診チラシを同封し、周知している。 (歯っぴー健診は担当ケアマネにも連絡している)	
成果と課題	①30年度途中で県の事業が予算不足のため、終了。 ②対象者(新規の要介護3の方)の減少。		
今後の取り組みと方向性	継続	県主催事業の終了に伴い、今後は、在宅歯科医療連携室の協力を得ながら訪問歯科健診の実施を継続していく。	

重点的取り組み		福祉の手続きの際に歯科相談窓口の周知強化	
該当する事業		①在宅重度障がい児(者)の歯科保健推進事業 ②歯科相談窓口の周知	
担当課	(社会福祉課)	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	①在宅重度障がい児(者)が身近な地域で歯科的支援を受けられる体制整備	
		②障害者手帳・療育手帳交付時に相談窓口等の周知	
	取組み	①燕・弥彦地域の歯科保健担当者が意見交換会において、必要な様式や研修会について検討し、平成30年12月より事業開始。	
成果と課題	事業および窓口PRのためチラシを作成し、平成31年4月より関連する部署において配布を開始。		
今後の取り組みと方向性	継続	今後も継続的に関係機関で協議していく。	

生涯を通じて	歯や口腔の健康を保ち、「食べる楽しみ」「すてきな笑顔」「楽しい会話」でいきいきと過ごす
行動目標 <ul style="list-style-type: none"> ○歯磨き習慣やよく噛む習慣を定着させる ○定期的に歯科健診を受ける ○健診・教室などの事業を通して、歯の健康意識を高める 	

平成30年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【生涯を通じて】

重点的取り組み		つばめ元気ががやきポイント事業の啓発とともに歯の健康づくりに取り組む	
該当する事業		①つばめ元気ががやきポイント事業 ②歯っぴーフェア	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・ポイント事業協賛企業 保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたい
実施状況	内容	①元気ががやきポイント手帳において、歯に関する項目を載せる 1Pメニュー「毎食後の歯磨き」「30回以上よくかんで食べる」 5Pメニュー「歯科健診・唾液潜血反応検査」「歯っぴーフェア」 ②歯のイベント「歯っぴーフェア」を燕歯科医師会と実施開催	
	取組み	①②歯っぴーフェアでは、広く参加者を募るために、近年はつばめ元気ががやきポイント事業抽選会と同時開催している。また、在宅歯科医療連携室やポイント事業協賛企業(薬剤師会等)、ポイント事業推進団体と連携しながら、様々な切り口で歯の健康づくりについて啓発をしている。	
	成果と課題	①ポイント手帳を継続的に取り組むことで、歯の健康行動の定着を図ることにつながっている。 ②イベントでは、回を重ねる毎に趣向を凝らしたブースを運営し、参加者の歯の健康づくりの意識を高めるきっかけとなっている。	
今後の取り組みと方向性		継続	今後も引き続き、保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたいがポイント事業に取組み、その取り組み状況や成果をイベントだけでなく、市民への発信を強化していく。